

News Letter

2019年

7月

中国四国農政局
岡山県拠点

平成30年7月豪雨からの復興 ～元気を取り戻そう！ 農事組合法人「服部営農組合」～

【服部営農組合の概要】

服部営農組合は、岡山県倉敷市の北部に位置する真備町服部地区にあります。同地区では、地域内のほ場整備の実施を契機に平成25年10月に集落営農組織を設立し、翌年1月には農地中間管理事業の導入に伴い、農地中間管理機構を活用して農地を集積し、農事組合法人服部営農組合を設立しました。

現在は、30～70代のオペレーター9名が中心となって水稲15ヘクタール、麦8ヘクタール等を栽培しています。

【平成30年7月豪雨からの復旧】

平成30年7月に発生した豪雨では、真谷川の堤防が決壊し、同組合の水稲13ヘクタールが流入した土砂やゴミで覆い尽くされました。同組合の水川代表は「今後2～3年は作物が栽培できない。」と落胆しましたが、組合員や全国各地からのボランティア活動により、2ヵ月後には大量の土砂やゴミの撤去を終えました。その後、麦の作付けを目指して土壌診断を受け、草刈やほ場の耕耘などの作業を組合員が協力して行い、11月には復旧した8ヘクタールの農地に麦を播種することができました。その後は天候にも恵まれ、今年5月に収穫したところ思わぬ豊作となりました。また、6月には水稲の直播を行うなど、災害前の営農に戻ったことに「多くのボランティアの支援や組合員が自ら進んで作業し



大量の土砂やゴミに埋め尽くされた水田



5月、待ちわびた麦の収穫

てくれたことで、ここまで復旧することができた。」と水川代表は笑顔で話していました。

【地域の農地を守る新たな取組】

同組合は、今回の被災を機に離農する6名の水田を引き受け、規模拡大による効率化を図るとともに、大型農業機械が進入できない畑等の荒廃を防ぐ新たな取り組みとして、ハッカや山椒の試験栽培を始めています。今後は、地域の農地を守る取組を行う他に、子供会と連携したサツマイモ栽培や餅つきなどに取り組み、地域に元気を取り戻したいと意気込んでいます。



地域に元気を取り戻すため知恵を絞る組合員
(写真提供：備南広域農業普及指導センター)

「あふてらす農林漁業はじめるサイト」を開設しました

これまで農林水産業と繋がりのなかった皆さんが「農林水産業について知りたい！始めたい！」と思っても、品目、規模、地域、本人のスキルなどによって、仕事の選び方、始め方はさまざまであり、どこを見て、どこに相談したらよいか分かりにくい状況でした。

そこで、農林水産省は、

- 農林水産業との関わりがなかった皆さんへの一次産業の魅力の紹介
- 農林水産業に仕事として関わりたい人のための全国各地の求人情報や就業支援フェア等の開催情報の提供
- 就業に当たっての支援制度や関連する情報の提供
- 生産品の6次産業化や付加価値の向上に挑戦するための情報の提供

を目的とするポータルサイト「あふてらす 農林漁業はじめるサイト」を開設しました。

あふてらす～農林漁業はじめるサイト～(農林水産省)

http://www.maff.go.jp/j/aff_terrace/index.html



© 2019 農林水産省

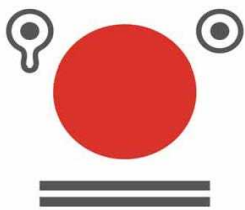


QRコードはこちら

食品ロス削減国民運動

～ NO-FOODLOSS PROJECT ～ 進行中！！

食品ロス削減にフードチェーン全体で取り組んでいくため、官民が連携して食品ロス削減に向けた国民運動を展開します。



食べものに、
もったいないを、
もういちど。

NO-FOODLOSS PROJECT

食品ロス削減国民運動のロゴマーク（ろすのん）です。
食品ロス削減に取り組む皆様にお使いいただけますので、多くの方のご利用をお待ちしています。

食品ロス削減国民運動のロゴマーク利用申請方法についてはこちら
http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/161227.html



こちらもお
使いいた
できます。

☆詳しくは→

食品ロス 農林水産省

検索

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 岡山県拠点

〒700-0927 岡山市北区西古松2丁目6-18 西古松合同庁舎3階

TEL (086)899-8610 FAX(086)899-8611 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>